

米下院 「法輪功保護法案」可決

米下院は6月25日、『法輪功保護法案』を全会一致で可決した。同法案は、中国共産党（以下、中共）による法輪功への迫害を問題視。法輪功学習者（以下、学習者）からの生体臓器摘出という中共の犯罪を非難し、それに関与した者には資産の凍結や米国への入国禁止といった制裁を科す。

中国の強制的な臓器摘出に制裁

『法輪功保護法案（H.R.4132）』は、ペンシルベニア州共和党のスコット・ペリー下院議員ら18人の超党派の議員によって提出された。今後は上院に提出され、可決後に大統領が署名することで成立する。

ペリー下院議員は採択前の演説で、次のように述べた。「1999年以来、法輪功は中共政府による迫害の対象になっています。法輪功は心と体を修める功法であり、その学習者は『真・善・忍』の原則を遵守しています。1999年、中共は7000万人から1億人が法輪功を学習していると推定していました」

「法輪功は中国で人気がありますが、中共によって残酷



に迫害されています。法輪功を学んでいる人は不法に拘束され、拷問によって苦しめられ、重労働を強いられ、さらには生体臓器摘出によって殺害されることさえあります」

「『法輪功保護法案』は、中共による生体臓器摘出に加担もしくは支援する者に制裁を科すものです」

法輪功への迫害は「基本的人権を侵害」

同法案によると、臓器の強制摘出による人間の殺害は、「医療倫理の普遍的基準に対する重大な違反」。そして中共による法輪功への広範で組織的な国家主導の迫害は「明らかに学習者の基本的人権を侵害」しており、ジェノサイド（特定の集団の絶滅を目的とした大量虐殺）に該当する可能性もあるという。

迫害は直ちに終結しなければならない

また同法案では国連人権理事会に「法輪功への迫害について中国を正式に非難するべき」と指摘するとともに、「中共による国家主導の法輪功への迫害は、直ちに終結しなければならない」とした。

中共による臓器狩りの被害者 ワシントンで実体験を語る

中国出身の法輪功学習者・程佩明さんは7月3日午後、米国ワシントンD.C.で開かれた記者会見で、中共から臓器を強制摘出された実体験を語った。

縫合された傷跡

程さんは、記者団に上半身左側の縫合された傷跡を見せた。同日中に米国連邦上院議員らが「強制臓器狩りは極めて野蛮な行為であり、止めなければならない」、「中共を罰すべき」、「すべての善

良な人々は、この行為を非難すべきである」等と声明を発表した。

程さんは、黒龍江省鶏西市出身。1998年3月から法輪功を学んでいるという。記者会見で「中共が1999年に（法輪功の）弾圧を開始して以来、私は5回も連行され、迫害されました。2001年12月、私は不当に懲役8年の実刑判決を宣告されました。その間、強制的な臓器摘出を含め、様々な拷問を受けました」と話した。

麻酔を強制されて臓器を摘出

程さんは、自らの体験を語った。「2004年11月16日、刑務所は私への拷問を強化しました。夜8時、私は意識があり、他に身体的な問題はありませんでした。彼らは私を大慶第四病院へ強制的に連行しました。警官は、私の家族に、私が危篤状態にあり手術による死亡確率は80%だと告げました」

「彼らは私に手術のサインを求めましたが、私は拒否しました。その時、6人の警官が私を押さえつけ、麻酔をかけました。19日に目が覚めると、右足は病院のベッドに手錠で固定され、片腕には点滴、両足には点滴カニューレが刺され、鼻には酸素チューブが差し込まれていました」

「23日、私は大慶刑務所に戻されました。刑務所の診療所で12月2日に傷口は抜糸され、担架で監房に運ばれました。当時、私は毎日咳き込んでいて、左肋骨が痛くてしび

れ、起き上がることもできませんでした。今でも左腕と肋骨に鈍い痛みがあり、特に雨の日や疲れている時は、さらに痛みが強くなります」

「趙という警官は、手術の間、銃を持って警備していました。刑務所に戻った趙は、仲のいい受刑者に、看護師長から『30年間医療に携わってきたが、移植手術に出くわしたのは初めてだった』と聞いたと話しました。受刑者たちは、このことを1年間話し続け、私が移植手術を受けたことをみんな知っていました」

病院から逃亡

程さんによると、2006年3月2日、刑務所は突然、程さんを大慶龍南病院に強制連行した。医師からは手術をすると言われたが、その時の程さんの体調に異常はなかったという。

3月3日午前2時、警備員が寝ている間に、程さんは病院の非常階段を下りて逃げ出した。その後、地元の公安は市の全域を搜索した。程さんは、他の学習者の助けで黒龍江省から脱出した。中共公安部は5万元（約110万円）の懸

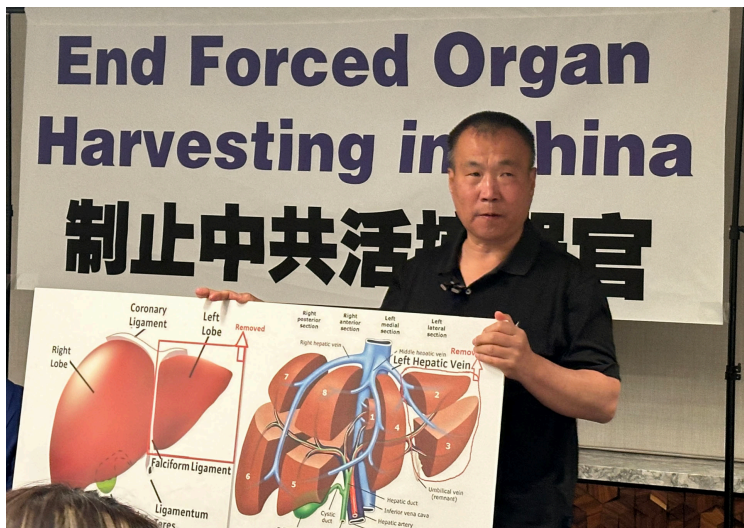
賞金をかけて程さんを指名手配した。

2006年3月9日、程さんは明慧ネットで、学習者が臓器を収奪された記事を読んで恐怖を感じたという。「病院での体験を思い出すと、身体が震えました。まるまる2ヶ月間、服を脱いで寝る勇気がありませんでした。2004年に大慶病院で『移植』手術を受けた意味を理解しました」

米国政府に感謝

程さんは、2015年に中国から逃亡した。そして米国政府の人的救助のおかげで、2020年に米国に到着した。「一連の健康診断の結果、肝臓と肺の一部が強制的に摘出されたことが確認されました」と程さん。

「私はあらゆる困難を乗り越えて悪魔の洞窟から抜け出し、アメリカにきました。私の願いは、自分の悲惨な体験を公開し、中共の残酷な迫害と臓器狩りという犯罪を暴くことです。正義感のある心優しい人々が、中共の邪悪な本質を認識し、私の安全を守り、中共による臓器狩りという凶悪犯罪を一刻も早く制止することを願っています。米国政府に感謝します」



■臓器を強制摘出された実体験を語る程佩明さん

フェスティバルで法輪功を体験 メルボルン

オーストラリアのメルボルン・コンベンション・アンド・エキシビションセンターでは6月7～10日、「心身健康フェスティバル」が開催され、1万人以上の人々が訪れた。法輪功の学習者は、ここにブースを設置して法輪功を紹介した。

このフェスティバルは、オーストラリアで最大規模かつ最も歴史のある健康フェスティバルで、今回は230以上のブースが出展した。法輪功のブースを訪れた人々は功法を学び、中には『法輪功』や『轉法輪』などの書籍を購入した人もいた。

真・善・忍の原則は素晴らしい

「この本は素晴らしいです！家に帰って早く読みたいです」とメアリー・スタトンさん。法輪功のブースで学習者の善意と穏やかな雰囲気を感じたという。

学習者のバーバラさんから説明を受けたメアリーさんは「バーバラさんが学習について、とても親切に説明してくれたので、この本（『轉法輪』）を買いました」

メアリーさんはバーバラさんに「ここを訪れる人々は様々でしょう。友好的な人もいれば、受け入れ難い人もいますよね。どう対応するのですか？」と質問した。バーバラさんは「私は穏やかな心を保っています。訪れる人の態度がどうであれ、それは私たちの学習の過程です。法輪功を学ぶことで、本当に生活を変えることができます」と答えた。

バーバラさんの回答に感銘を受けたメアリーさんは、「（法輪功の）真・善・忍の原則は素晴らしいですね。みんながこうした品位を持てば、社会はもっと良くなると思います。とても大切なことです。生活の中の困難から学んで内省し、より良い人になることができますね」

高校生「法輪功は受験に役立ちます」

高校11年生（日本では高校2年に相当）のメイソン・ドゥビアさんも法輪功のブースを訪れ、功法を学んだ。

メイソンさんは「とてもいい気分です。心が落ち着いて、平和的な気持ちになりました。新たに生まれ変わったように感じました」

来年の大学受験のプレッシャーに直面しているメイソンさんは、法輪功の学習が学業に役立つと考え、自宅付近で朝の集団煉功に参加しようかと検討している。「心身をリラックスさせるのによいと思います。学校のハードな一日の後に功法でリラックスして、心身の調和とバランスを取り戻せます」

簡単に学べる功法とその効果を体験したメイソンさんは、学習者が忍耐強く教えてくれたことに感謝し、とても有益だったと語った。



■「心身健康フェスティバル」で法輪功を紹介

私立学校で法輪功を学ぶ マドリード

スペインのマドリードにある私立学校では、5月17日の「保護者と教師の日」に学習者を招き、法輪功について学んだ。

当日は教師や学生、保護者ら約300人が参加し、学習者から5つの功法を習うと共に、法輪功への迫害について理解した。

集中していた学生たち

学習者は、主催者が用意したステージで功法を実演した。児童、生徒は年齢別に3つのグループ（3～5歳、6～8歳、中学生）に分かれ、午前10時から午後6時半までの3回に分けて功法を学んだ。

教師らは、素晴らしいイベントだったと語った。活動を主催したベレンさんは、学習者に感謝した。「普段はなかなか静かにできない子供たちが、こんなに長く集中するのは思っていませんでした。これはとても重要なことだと思います」

また、ベレンさんは、「現代人は携帯電話やパソコンに頼り過ぎ、特に子供たちはオンラインゲームにはまり、ますます落ち着かなくなる傾向があります。この法輪功という功法は、人々を落ち着かせ、穏やかにすることができます。私たちは皆、とても楽しんでいました」と話した。

無料に驚いた保護者

イベントが終わる頃、功法を習い終えた若い母親がやって来て功法を学ぶ費用を尋ねてきた。学習者が無料だと答えると耳を疑い「百数十カ国に広まっているこんなに素晴らしい功法が無料であるわけ



■マドリードの私立学校で、功法を学ぶ学生

がないのでしょうか？」と、信じられない様子で再度尋ねた。本当に無料だと確認すると、法輪功を学ぶことを決めた。

各セッションの終わりに、学習者は法輪功の小冊子と小

さな蓮の花の飾りを学生たちに配った。

主催者の一人であるネレアさんは、子供たちがこのイベントを楽しんでいたし、とても勉強になったと語った。今

後もこのようなイベントを企画したいという。

イベント終了後も、何人かの学生が学習者の周りに集まって坐禅を学び、穏やかなひとときを過ごしていた。

1冊の本に出会い うつ病から解放

西オーストラリア在住でベトナム出身のバン・ファム（Van Pham）さん（50代）。今は、とても元気で若々しく見えます。しかし6年前の彼女は、生きる希望すら失っていました。

幼い頃から体が弱い

バンさんは幼い頃から体が弱く、「他の人と同じように動こうとすれば、すぐにめまいや倦怠感を感じました。体力を回復するには、横になって休まなければなりませんでした」

長年にわたり、様々な治療を試みましたが何の効果もなく、諦めていました。「小さい時から、命を絶とうという思いがありました」と振り返ります。

うつ病を患う

結婚して出産すると、バンさんの健康状態は、さらに深刻になりました。精神的重圧でうつ病に罹り、育児も家事

も、そして仕事もできなくなりました。「息子の面倒を見ることができないため、他人の助けに頼るしかありませんでした。自分が役に立たない人間だと思つと、死んだほうがましだという考えが頭に浮かびました」

当時のバンさんは、何度も自殺を試みていました。

1冊の本に出会う

2017年の初め、バンさんはベトナムに帰省して家族を訪ねました。そこでお兄さんが「私は法輪功を学習して3年になる。生活と健康面で多くの良い変化が起きた」と法輪功を薦め、『轉法輪』を贈ってくれました。

オーストラリアに戻ったバンさんは、お兄さんの再三にわたる勧めでようやく半年後に『轉法輪』を読み始めました。「数ページしか読んでいないのに寝てしまい、翌日も同じでした。最初の数日間は、本に書かれた意味が全く

分かりませんでした。一生懸命に最後まで読み終えて、初めてこれは人を高い次元に導く修煉の本だと気づきました」

一人で本を読んでいると、すぐ眠くなってしまいますので、バンさんはベトナム語のオンライン・グループに参加し、多くの学習者と交流するようになりました。

「数日間のオンラインでの学習を通じて、睡眠が著しく改善されました。夢を見ることがなくなり、目が覚めると頭がすっきりしました。血行不良によるしびれも頭痛もなくなり、長年硬くなっていた筋肉が徐々にほぐれ、自分の身のまわりのことができるようになりました。家族の

助けも必要なくなりました」

家族の絆が強くなる

「『轉法輪』を読んで人生の意義を知った私は、死にたいという考えがすっかり消えてしまいました。息子は私の変化を喜んで、法輪功の学習を支持してくれました。家族の絆もより強くなり、今では

他の人とコミュニケーションを取れるようになりました。新しい友達もできましたし、人々に法輪功について伝えていきます」

「もし法輪功に出会わなかったら、私の人生はもう終わっていたでしょう」とバンさんは語っています。



■バン・ファムさん

読字障害を乗り越えて

イギリス在住のナタリアさんは若い頃、深刻な言語障害と読字障害がありました。しかし、今では講演で生計を立て、人前で話し方を教えるまでになりました。彼女に何か

起きたのでしょうか。

法輪功との出会い

2004年1月のある日、ナタリアさんが仕事から帰ると、兄がリビングで座り、青いカ

バーの本を読んでいた。そして「この本を読むと落ち着く」と言います。その本を読んでタバコと麻薬をやめた兄の口から聞いた言葉は、特別なものだと感じました。確かに兄は以前より優しくなり、口調も穏やかになっていました。

「読むなら、一気に読んだ方がいい」と兄から勧められたナタリアさん。仕事を休み、24時間かけて法輪功の本を読み終えました。

ナタリアさんは、何も理解できなかったと思うと同時に、心の奥底で何かを感じました。それは、生涯探し求めていた精神的なものだったのです。

読字障害が治る

ナタリアさんは、自分が読字障害だとは知りませんでした。ただ、知性が欠けていると感じていました。初めて『轉法輪』を読んだとき、難しかったのですが、自分の脳の何かが修復されたかのように感じました。本の文字が飛び回らなくなり、集中できるようになったのです。『轉法輪』を普通に読めるようになりました。

「人はなぜここに存在するのか？ なぜ法輪功を学習するのか？」といった疑問について、とても簡潔に説明されていました」。ナタリアさんは、本当に感動しました。

そして、最初の1カ月で5つの功法をマスターし、すべての病気が治りました。

真・善・忍の理念を実践

ナタリアさんは大学に進学し、同時通訳を学びました。後に教師になり、3カ月でイタリア語を習得しました。

しかし、生まれ故郷のアルゼンチンでは、不幸な結婚生活が7年間続きました。前夫は貯金を全て奪っていきましたが、ナタリアさんは許しました。「（法輪功を）学習すれば、良いご縁も悪いご縁も、どちらも良いものになります」

イギリスに戻ったナタリアさんは、話し方やコミュニケーションを支援するビジネスを立ち上げました。顧客には、大企業の社員、学生、役員などが含まれています。また、テレビ局のレポーターのトレーニングも行っており、業績は好調です。「法輪功を学習していなければ、自分を表現することもできず、今の私はいません」とナタリアさん。

彼女は、自分が法輪功の学習者だと自覚し、真・善・忍の理念を実践しています。人の立場に立って思いやりを持ち、心から人のことを気にかけています。



■ナタリアさん

法輪功を学ぶには

法輪功（ファールンゴン）は法輪大法（ファールンダーファ）とも呼ばれます。1992年に李洪志氏により伝え出された、心身を鍛える気功修煉です。法輪功の修煉は、「真・善・忍」を理念とし、日々の生活の中で自らを高め、家庭や社会の安定と、人々の健康増進、道徳水準の向上にも、計り知れない効果をもたらします。

一、修煉とは

法輪功は、心性を高める「修」と煉功をする「煉」の2つが含まれます。

1、学法

法輪功の主要な著作『轉法輪』には、修煉に必要な法理がすべて含まれています。『轉法輪』を繰り返し読むことで、深い内包を悟ることができます。

法輪功学習者（以下、学習者）は普段、法輪功の著作を学習することを「学法」と呼んでいます。学法には、注意すべきことが2点あります。

1) 『轉法輪』を読む時、はじめから終わりまで通読すべきで、一部分だけを選んで読むはいけません。途中で中断しても構いません



■法輪功の功法は、公園や公民館などで無料で学べます

が、書かれている順序どおりに読むべきです。

2) 学法の時、いかなる求める心もあってはなりません。心を落ち着かせて繰り返し通読してこそ、「求めずとも自ずと得る」ことができるのです。

学習者は、通読中に生じた疑問への解答が、後ろの章で得られることがあると体験しています。また再び通読すること

で、また新たな疑問が生じ、また解答が得られません。

2、煉功

法輪功は煉功と呼ばれる5セットの功法があります。李洪志先生が書かれた『法輪大法大圓滿法』には功法の特長、写真と動作の説明、付録が含まれます。

二、学ぶには

入門書の『法輪功』または『轉法輪』を通読するか、9日間のビデオ学習講座に参加して、李洪志先生の説法の録画を順序どおり見ます。

『轉法輪』は「論語」と九講の説法から構成され、説法の録画・録音も同じく九講です。

世界中の学習者たちがボランティアで教える煉功場（気功教室）があります。最寄りの煉功場を

探し、「9日間のセミナー」が開かれていれば九講の説法を全て聞き、5セットの功法を学ぶことができます。

煉功場では皆で煉功し、正しい動作を学び、学習者が間違いを直してくれるため、効果が高まります。続けて参加することで惰性を克服しやすくなります。

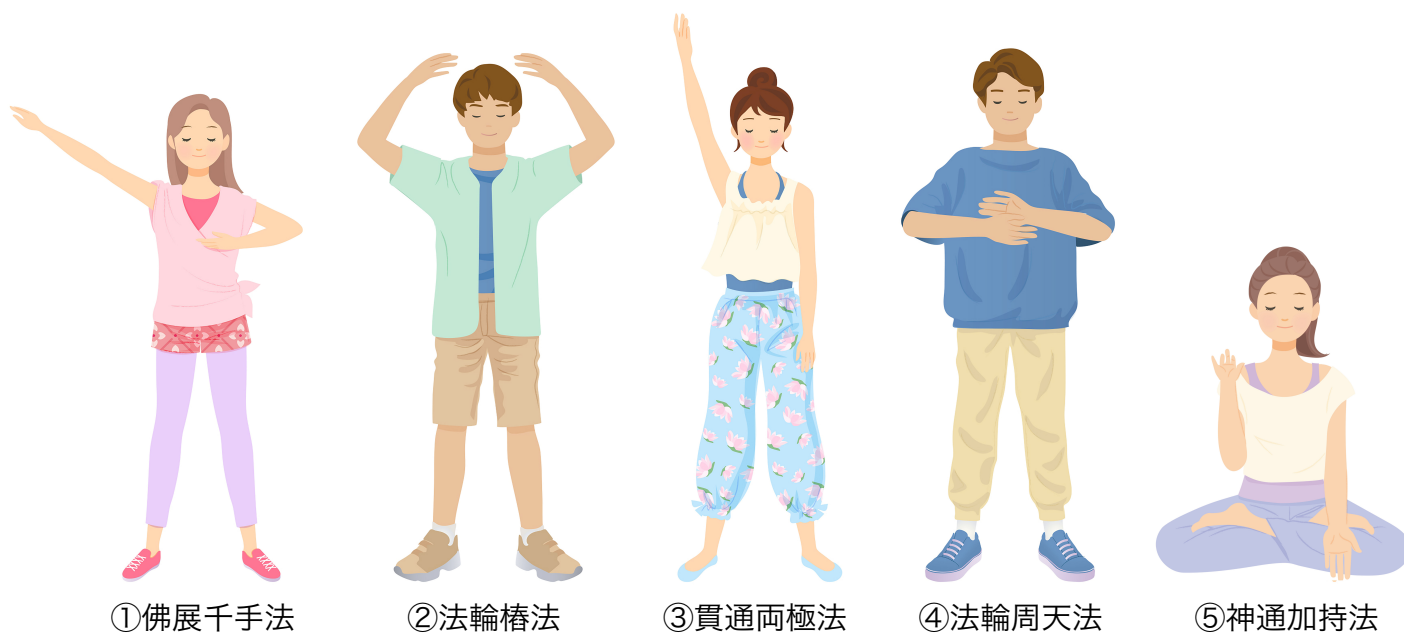
周りに煉功場がない方は、李洪志先生が功法を教えている録画ビデオを見ながら独学することができます。毎日煉功する時、法輪功の煉功音楽に合わせて煉功しましょう。

また、インターネットで、オンラインレッスンを無料で受講することもできます。煉功の動作を学ぶだけでなく、書籍と一緒に読むグループもあります。

初めての方へ：

法輪功の活動はすべて学習者たちがボランティアで無料で行っています。ビデオ学習講座、功法レッスン、修煉体験交流会など、修煉の純正さを保つために、料金を取る行為を絶対に禁じています。もし有料のものがあれば、それは決して法輪功が開催したものではありません。

5セットの煉功動作



①佛展千手法

②法輪樁法

③貫通兩極法

④法輪周天法

⑤神通加持法



オンラインレッスン
各地の気功教室



『法輪功』（ファールンゴン）

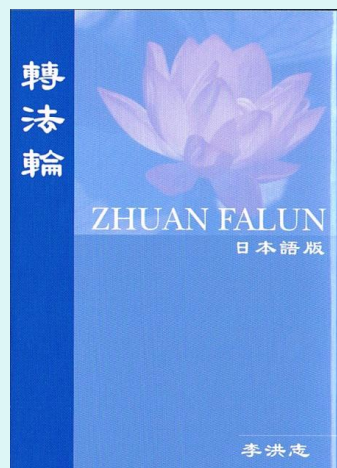
1993年に中国で発売され反響を呼んだ話題の一冊。心身ともに健康になる中国伝統の気功修煉法「法輪功」の入門書。



無料で読む



書籍を購入



『轉法輪』（ジュワンファールン）

1996年に中国北京でベストセラーとなった。「真・善・忍」を理念とする法輪功の修煉を、体系的に指導する最も主要な書籍。



無料で読む



書籍を購入

7.20迫害はなぜ起きたのか？

1992年に中国で伝えられた伝統的な気功修煉法である「法輪功（法輪大法ともいう）」は、心身の健康への高い効果によって、口コミで中国全土に愛好者が増えた。官製メディアでも紹介され、東方健康博覧会では最高賞を受賞した。

しかし1999年、学習者45人が不当に逮捕される事件が起きた。4月25日にはその釈放を求めて北京で1万人規模の平和陳情が行われた（「4.25平和陳情」）。平和的に解決したかと思われたが、約3ヵ月後の7月20日、中国全土で迫害が始まった。

この迫害は、今年で25年目となる。毎年、「7.20」は迫害停止を呼びかける日として、世界各国で「反迫害活動」が実施されている。

4.25平和陳情

ある出版物に法輪功を誹謗中傷する記事が掲載されたことが発端となった。その編集者に学習者が自らの体験を説明し訂正を求めた



ところ、警察は学習者に暴行を加え、45人を逮捕。地元当局（天津）に釈放を求めると、中央政府（北京）に行くようにとの回答を得たことから、学習者は自主的に北京の陳情事務所に向かった（1999年4月25日）。

陳情に訪れた学習者は1万人にも達したが、組織

化されて集まったわけでもなく、スローガンも掲げず、警察の誘導に従い整然と並んでいた（後に中共はこれを学習者が「中南海（中共の中枢があるエリア）を包囲した」と主張）。この時は警官に暴力的に扱われることもなく、うち数名が朱鎔基首相に対面して陳情した。海外メディアか

らは「中国で最も大規模、最も理性的・平和的、最も成功した陳情」と称賛され、平和的に解決したかと思われた。

江沢民（元国家主席）からの書簡

しかし、六四天安門事件で学生を弾圧することでキャリアを積み上げた江沢民（元国家主席）

は、1999年4月25日の夜、政治局全員に宛てた書簡をしたためた。

その書簡には「我々共産主義者が信じるマルクス主義、唯物論と無神論は、法輪功が広めている一連のものに勝てないと言うのか？」と書かれていた。この書簡はその後、中央弁公庁によって内部通達として発行され、特に以下の注釈が付された。

7.20

1999年7月20日未明、江沢民（元国家主席）の指示の下、中国全国で大規模な学習者の逮捕が始まった。

「名誉を汚し、経済的に破綻させ、肉体を消滅させる」、そして「打ち殺しても自殺とみなす」という政策の下、全国のメディアは、法輪功についてのデマを流布した。

中国全土で大勢の学習者が拘束・逮捕され、拷問の末、無惨に殺害された。文化大革命が再来したかのようだった。

2024年5月、法輪功学習者71人の不当判決が判明

明慧ネットが報道したところでは、中国の20の省、自治区及び直轄市で、少なくとも71人の学習者が不当な判決を受けたと5月に判明した。

最も深刻だったのは、遼寧省12人、湖北省10人、山東省9人、黒龍江省と湖南省各5人（うち60歳以上は34人（80～90歳2人、70～80歳20人、60～70歳12人））。

また、司法当局は、学習者から41万5000元（約913万円）を不当に強要した。内訳は、裁判所が科した罰金33万円と、家宅捜索の際に警官が押収した現金8万5000元である。

迫害の実例① 懲役3年の不当判決

黒龍江省ハルビン市呼蘭区康金鎮に在住の周春玲さん

は、法輪功を学んでいるとして、裁判所から懲役3年の実刑判決、罰金1万円を宣告された。周さんは控訴した。

2023年11月9日午後、周さんはハルビン市道外区にある飲食店で勤務していたところ、仁里街派出所と呼蘭区の国内安全保衛部門（法輪功迫害の実行機関）の警官らによって不当に連行され、ハルビン市第二留置場に拘禁され

た。

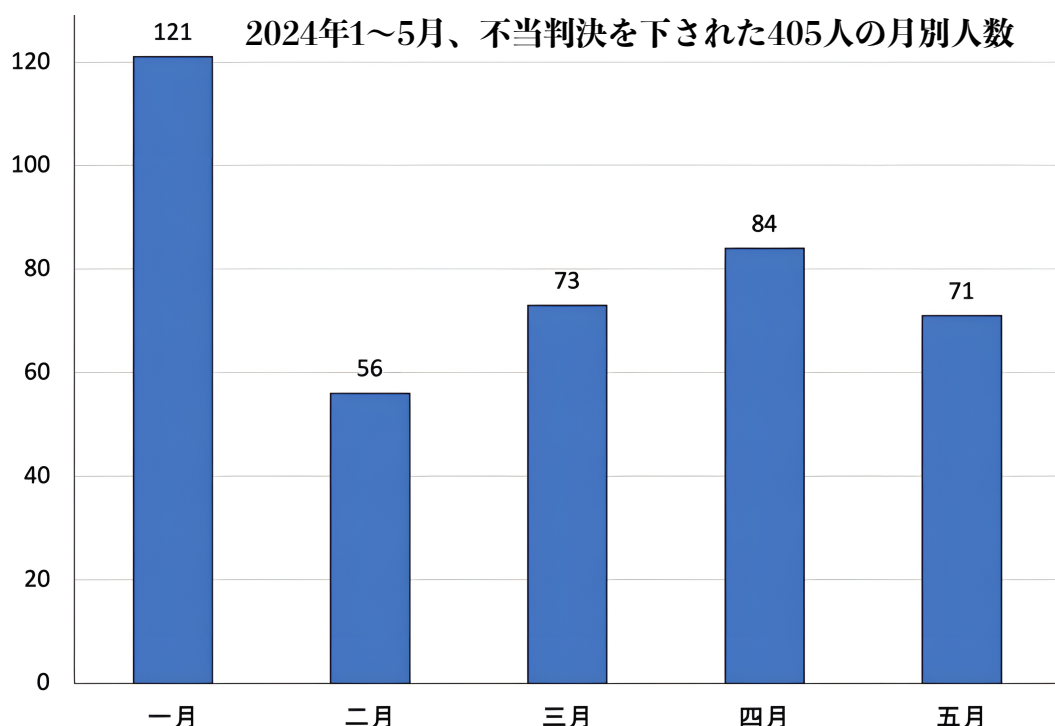
今年3月8日、周さんは裁判にかけられたが、審理は形式的だった。周さんの弁護士は無罪を主張したが、陳中彦裁判長は「あなたはもう弁護士をやりたいのか！」と脅した。

迫害の実例② 服薬を強要

遼寧省大連市荘河の学習

者・王桂紅さんは今年5月、普蘭店裁判所によるオンライン裁判にかけられ、懲役10ヵ月と6000元の罰金を言い渡された。

王さんは留置場で強制的に洗脳され、他の学習者に関する情報を提供するよう強制された。また、スピーカーで法輪功を中傷する主張を聞かされて耳が聞こえなくなり、薬の服用も強制された。



『明慧二十周年報告書 中国で起きている20年間にもおよぶ法輪功への迫害』

中国で起きている20年間にもおよぶ法輪功への迫害

過去20年間、中国本土の法輪功学習者が直面してきた迫害状況の記録。

中国共産党が他国の指導者や企業を脅迫することにより、海外まで迫害の手を拡大してきた実態が記されている。

PDFファイルの無料ダウンロード



中国首相ニュージーランド訪問 学習者が迫害停止を訴え

中共の李強首相は、6月13日から16日までニュージーランドを訪問した。ニュージーランドの学習者は、首都ウェリントンとオークランドで、李強首相の移動経路や宿泊ホテル前等で平和的な抗議活動を行い、人々に中共の過去25年間にわたる法輪功への残酷な迫害を伝えた。

平和的な抗議活動は価値あること

学習者は平和的に抗議活動を行った。中国国旗を手にした中国人が訪れ、国旗で学習者の横断幕を遮ろうとし、学習者に暴行を加えようとする者もいたが、最終的に警察に逮捕された。

スペイン出身で、ニュージーランドで勤務するアーキ・デ・ソズアさんは中共による法輪功への迫害を知っていたという。アーキさんは「皆さんには抗議する権利があります。中共の人たちは、皆さんの活動を止めようとしています。間違いです。皆さんが平和に行っているの

は、価値のあることです」と語った。

中共の人権侵害は許されない

中等学校の教師であるジューンさんは「中共は人権を侵害しています。許されません」として学習者に迫害について伝え続けてほしいと願い、「多くの人に（迫害について）関心を払ってほしいです」と述べた。

法輪功への迫害を直ちに停止して

オクサナさんは、3年前に法輪功を学び始めた。「中国の首相が訪れていますが、ニュージーランドでは、法輪功を学習できます。中国では抑圧されている人権と自由が、ニュージーランドにはあるのだと示したかったのです。中国では学習者が迫害さ

られています。学習者は、犯罪者ではありません。よい人間になろうとしているのです。法輪功への迫害を直ちに停止し、生きている学習者から臓器を摘出する行為をやめてください」と語った。

メディアが抗議活動を報道

ニュージーランドの主要メディアが抗議活動について報道した。そして李強首相の訪問初日、主要メディアSTUFFはドキュメンタリー「The Long Game」を公開し、中共政府がニュージーランドへの悪質な潜入・干渉を行っていると報じた。

ニュージーランドのクリストファー・ラクソン首相は李強首相との会談後、「私は、いかなる外国からの干渉も容認しないと表明した」と述べた。



■平和的な抗議活動を行う学習者

中共の迫害を制止する立法措置を オーストラリアで記者会見

オーストラリアの学習者は6月4日、中国の首相がオーストラリアを訪れることを踏まえ、首都キャンベラの国会議事堂前で記者会見を開いた。そして中共による法輪功に対する25年間続く残酷な迫害を制止するべく、公に声明を出し立法措置をとる等の対応をオーストラリア政府に求めた。

この記者会見では、超党派の議員やカナダの人権弁護士のデービッド・マクス氏、元中共のスパイらが発言した。一方、学習者は24,000名の署名とともに、法輪功への迫害を制止するよう議会に求める嘆願書を提出した。

深い懸念を表す上院議員

ポール・スカー上院議員は「中国の学習者に対する迫害に深い懸念を表明することは、私の道義的責任と考えています」と述べ、25年にわ

たって続く法輪功への迫害についてオーストラリアが深く考えるべきとした。

マルコム・ロバーツ上院議員は「自由を取り戻す唯一の方法は、自由のために立ち上がる」と述べ、迫害を訴えて立ち上がった学習者の活動を支持し、感謝した。

臓器移植での虐待を禁止する法律の制定を

この日はカナダ人弁護士・デービッド・マクス氏もオーストラリアを訪れ、必要な法律の制定を訴えた。「海外における臓器移植での虐待を禁止する法律を制定した国も多いが、（取り組みは進展しているものの）オーストラリアはそうではない」

「良心の囚人が臓器のために組織的に大量に殺害されているのは、中国だけである。最初は法輪功で大量に（殺害が）始まったが、2017年以降



■スカー議員（前列右）に署名と嘆願書を提出する学習者

はウイグル族にも劇的に広がった。もちろん、少数ではあるが他の集団も殺害されている」

亡命した元スパイが呼びかけ

オーストラリアに亡命した、中共の元スパイであるエリック氏も記者会見で発言した。「天安門事件をはじめ数々の残虐行為により、中共の本性に気づきました。人々

は、中共の真の姿を認識すべきです」と呼びかけ、「中共は失敗する運命にあり、自由のために戦う人々は成功する運命にあると信じています」と述べた。

名利に執着しなかった范蠡（はんれい）

大医学者の孫思邈は『千金要方』で「人は徳がなければ、たとえ万能妙薬を飲んでも長生きできないのです。道徳心が高く完璧であれば、祈らなくても幸福が多く長生きすることができます」と述べている。

まず性格を養う

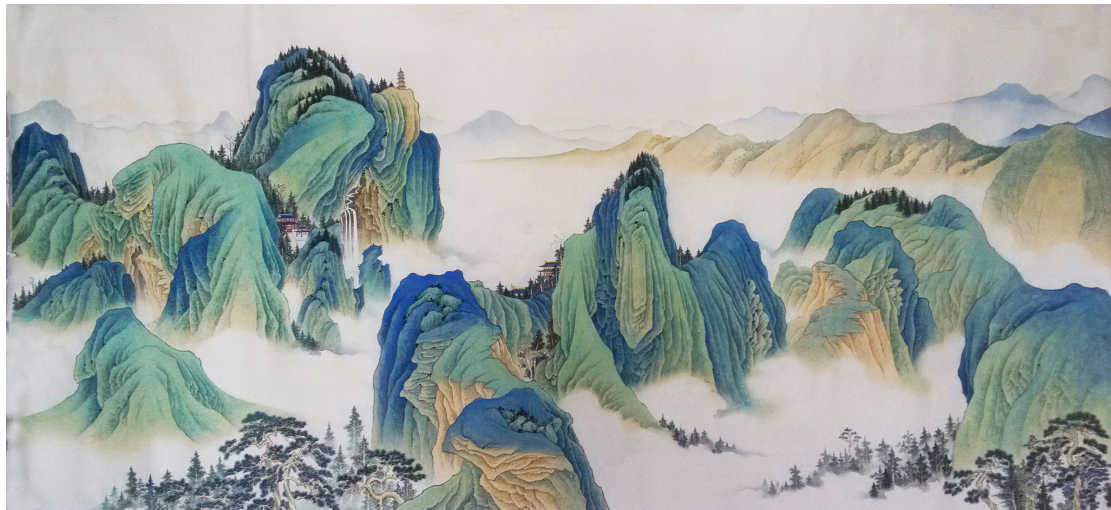
徳を養うには、まず自分の性を養わなければならない。性とは天上から見れば生命といい、人間世界から見れば性格という。性格を養うにあたり、一つには名利（名声や富）に執着しないことが大切である。

名利に執着せずに再び栄える

春秋時代、范蠡（はんれい）と文種は越王・勾踐（こうせん）を20年にわたって補佐し、呉を滅ぼして越を復興させた。范蠡は將軍となったが、自分の名声が長く続かないと考え、勾踐に手紙を書いて彼のもとを去った。

范蠡は勾踐王の性格を知り、富や幸せを臣下に分け与えないと見抜いていたのだ。

范蠡は文種に「越王のような人は苦勞を共にすることはできません。あなたはなぜ離れないのですか？」と忠告する手紙を書いた。しかし文種は信じず、最終的に勾踐によって死に追いやられた。



范蠡は越の国を離れ、齊にやってきた。名前を変え、荒れ地を耕し、商売に従事し、家財を築いた。范蠡が賢人であると知った齊王は、彼を役人に任命した。

范蠡は大臣になり、范蠡と家族の名声は頂点に達したが、これは不吉だと考えた。中国では伝統的に「頂点に達すると衰退の始まり」という考え方があるためである。

范蠡は大臣を辞し、定陶に移住して陶朱公と号した。そして、父子で商売を始め、再び財産を築き、貧しい人々を助けた。人々は尊敬して、富の神と呼んでいた。

先史文明の建築物

フランスの地質学者グザヴィエ・ル・ピション氏は1968年、「大陸プレート説」を提唱しました。地球のプレートは通常、毎年0～100mm程度で非常にゆっくりと移動しています。つまり、現在の大陸プレートは長い間、安定していたということです。

一方、海は地球の7割を占めています。現在のところ、人類は海底の5%程度しか探索していませんが、海底で先史時代の建築物が発見されています。

大西洋海域

2001年、カナダの国際探査会社ADC（Advanced Digital Communication）はキューバ

のユカタン海峡で石油資源調査を行っていた際、海面から650メートルのところで幾何学図形を発見しました。

研究員のゼリツキー氏とポール・ワインツウェイグ氏によると、探査場所は海底の平らな砂地でした。巨大な建築物を目にしたとき、衝撃を覚えたそうです。20kmに及んで都市が分布していることが分かりました。ゼリツキー氏は「大都市の中心部のように」と考えています。

地質学者を困惑させたのは、建物に使われている花崗岩がキューバに存在しないことでした。さらに信じられないことは、巨大都市が海中650メートルで残されていた

ことです。つまりこれは、地震災害によって沈んだのではないことが示唆されています。

デイリーニュースは2002年10月27日、「水没したキューバの遺跡は、人工物の可能性がある」と掲載しました。地質学者のイトゥラルデ氏は岩石を分析し、映像には極めて珍しいものがあると述べ、「このような図案は見たことがない。そして不可解なのは、海底に位置する深さである。最も速い速度で沈んでいくとすれば、少なくとも5万年かかるだろう。しかし5年前には、どの文明にもこれほど複雑な建物を建てる能力を有するものはなかった」と付け加えました。

太平洋海域

1986年、潜水士の新嵩喜八郎氏は与那国島の海底で、人工的な構造物を発見しました。琉球大学海底調査グループによって1992年から調査が行われました。居住区などの構造物や、動物のレリーフが彫られた石板が発見され、建築群は東西約270

メートル、南北約120メートル、高さ約26メートルでした。

研究員は人工的に作られた建築群であり、海底構造物を測定した結果、1万年の歴史を有していると結論づけました。建物を構成する砂岩は、2000万年前に形成されたものでした。

インド洋海域

インド科学技術省は、国立海洋技術研究所NIOTがカンバイ湾の海底で、古代文明の遺跡を発見したと発表しました。この遺跡の長さは、約9kmです。穀倉や風呂、道路、整然と配置された部屋が発見され、火の痕跡も発見されています。

インド国立地球物理学研究所（NGRI）、ビルバル・サーニ古生物学研究所（BSIP）、およびアーメダバードにある研究所は測定を行った結果、カンバイ湾の海底遺跡は9500年前のものだと結論づけました。

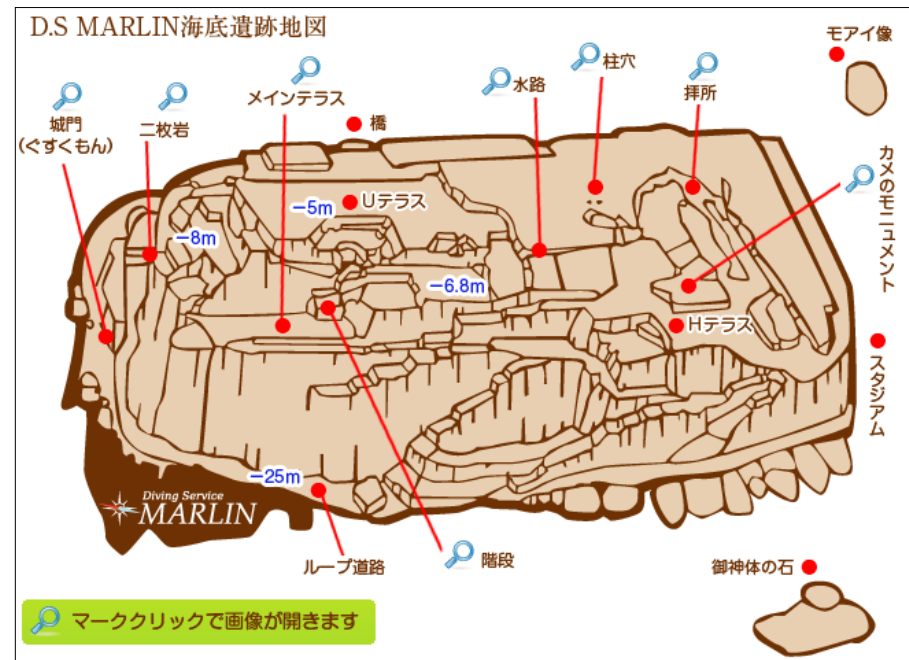
他にも、イスラエル沖の海底都市アトリットヤム、ギリシャ沖の海底都市パプロペトリなど、多くの海底遺跡が発見されています。それらにも都市計画がなされており、生活の跡が残されています。人類が探索できたのは海底の5%程度であり、前述の発見は海底建築物のごく一部にすぎないでしょう。

その他の海底建築物

先史時代だけでなく、人類の歴史の中で存在していたとされる都市も海底で発見されています。これらの都市は、古代の書物の中にしか存在せず、人々の記憶から消えてしまったものもあります。歴史的文献の研究の助けを借りて、これらの都市の遺跡を蘇らせることができました。

例を挙げるなら、古代ローマの詩人たちが描いていた「贅沢の渦」と「墮落の港」であるバイアエ、性の開放を推奨するイシス邪教の「巡礼地」であるトニス・ヘラクレイオン、「エジプト女王」クレオパトラ7世の宮殿であるアンティルホドス島、「地球上で最も邪悪な都市」として知られる「海賊の都」ジャマイカのポートロイヤルなどがあります。

これらの都市はすべて、壊滅的な地震や巨大な津波によって海の底に沈んでしまいました。膨大な量の宝石や金貨、美しい彫像、壊れた宮殿などが海の底に残されています。火山灰に覆われた古都ポンペイのように、かつてそこにいた人々は物質的な豊かさを手に入れましたが、正神への信仰を捨てて欲望と快楽に溺れるようになり、やがて海の底に沈んだのでした。



■与那国島の海底遺跡の概要図

写真特集



- ① ④ フラチャニ広場でパレード。天国楽団の演奏や腰鼓、金色の龍の舞、獅子舞が続いた（6月8日と9日、チェコ共和国・首都プラハ）
- ② 拷問の犠牲者を支援する国際デーを迎え、中共による拷問と迫害への反対を訴えて市内中心部のクイーン通りをパレードする学習者（6月22日、ニュージーランド）
- ③ フィリピン人コミュニティ活動で法輪功を体験したジョイスさん。「学んだ後はエネルギーに満ちあふれた気分になります。この功法の潜在力を実感しました。家に帰ったら詳しく調べて学び続けます」（6月15日～16日、トロント）
- ⑤ 小学校と高校の教師と生徒が法輪功を体験。「真・善・忍の価値観が私たちに必要」と教師がコメント（6月8日、ブラジル・サンパウロ）
- ⑥ ヤシ市インフォメーションデー 法輪功を支持する若者たち（6月8日、ルーマニア）

『明慧インターナショナル・30周年特別号』



法輪功が1992年に伝えだされてから、世界130カ国、1億人に愛好されている現在までの状況を紹介します。

また、迫害制止を求めた勇気ある行動、世界各地からの声援などを掲載。

無料ダウンロード
PDFファイルの

